授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	1通	36		○			○			○	○
○			パソコン演習	パソコンの基本操作を通じ、情報の整理・加工・発信の技術を身につける。 ３年次には、実社会で通用するパソコン技術の取得を目指す。	2 3 4 通	106			○		○			○	
○			販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を学ぶ。	2通	36		○			○			○	○
○			経営マネージメント	企業や学校、病院などの組織を上手にマネジメント（経営、運営）するための考え方や方法論を学ぶことで、広く個人や組織、社会を見る目を養う。事例にもとづく、具体的な活用に資することに留意する。	4通	34		○			○			○	○
○			合宿研修 《特別授業》	軽井沢研修所で社会人として基本的な団体行動のマナーや、仲間との共同作業を体験する。	1 2 3 4 通	144				○		○	○		
○			生命倫理・動物福祉	生命倫理の考え方及び動物愛護・動物福祉について学ぶ。	1通	36		○			○			○	○
○			動物形態機能学	動物の生命維持の仕組みを形態学、機能学、生化学の面から学び、生命体としての動物を細胞、組織、臓器レベルの各階層で理解するとともに、病的変化について学ぶ基盤を確立する。	1通	144		○			○				
○			動物繁殖学	繁殖に関わる形態機能学を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する。	2通	36		○			○				
○			動物行動学	犬や猫の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する。	2通	36		○			○			○	○
○			動物栄養学	５大栄養素やその代謝など基礎栄養学を学ぶとともに、ライフステージや疾患ごとの違い、各種療法食の特色や給餌方法などを修得する。	2 3 通	72		○			○			○	○
○			比較動物学	飼育動物や野生動物の概要を理解するとともに、産業動物の歴史や品種、飼養管理法、実験動物の品種や飼育管理法、動物実験との関わり、日本の野生動物の種類と保全、動物園などの展示動物の個体・群管理について学ぶ。	2 3 通	72		○			○				
○			動物看護関連法規	動物看護に関連する基本的な法規について学び、社会における愛玩動物看護師の役割を理解する。	1通	18		○			○				
○			動物愛護・適正飼養関連法規	動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規について学び、人と動物の共生のあり方等を理解する。	2後	18		○			○				
○			動物看護学概論	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する。	1前	36		○			○				

授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物病理学	様々な疾病が組織や臓器にもたらす変化を学び、病態について理解する。	1後	36		○			○				
○			動物薬理学	代表的な薬物の体内動態と作用機序、臨床応用及び副作用について学び、動物の疾病の診断や治療にどのように用いられるかを理解する。	2通	72		○			○				
○			動物感染症学	微生物や寄生虫の分類、生物学的特性、伝播様式や発病のメカニズムについて学び、検査や診断、衛生管理、予防・治療法など感染症対策の基礎について理解する。感染防御に関わる免疫学の基礎について理解する。	1 2通	108		○			○			○	○
○			公衆衛生学	環境及び食品衛生、疫学、人獣共通感染症について学び、人の健康の維持・増進や疾病予防への応用について理解する。	1 2通	72		○			○			○	
○			動物内科看護学	内科診療の補助に必要な基礎知識を学び、身体検査、採血、投薬、輸液、輸血、画像診断に必要な検査、所見の記録等について理解する。	1後 2通	108		○			○				
○			動物外科看護学	外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの周術期の流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。	1 2通	72		○			○				
○			動物臨床看護学総論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	2通	36		○			○				
○			動物臨床看護学各論	動物看護過程の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。	2 3通	140		○			○				
○			動物臨床検査学	様々な臨床検査の原理や方法、意義について学び、検体や測定機器の正しい扱い方について理解する。	1通	36		○			○				
○			愛玩動物学	愛玩動物の歴史や品種、使役動物の歴史や役割、適切な飼育管理方法について理解する。	2 3通	72		○			○				

授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーショントレーニング	実社会で必須な話す・聴く・書くなどコミュニケーション技術の基礎を身につけ、身だしなみやふるまいを含めた飼主応対やスタッフ間での接し方を学ぶ。カルテをはじめとした情報の記録・管理、電話応対、会計業務などの院内業務について習得する。また、対人関係スキルの向上を目指す。	1 2 3 4 通	284				○	○		○		
○			動物美容学（器具演習）	各犬種のトリミングに必要な技法を細部にわたって学ぶ。	1 通	36			○		○		○		
○			アニマルアロマ概論	ペットに対してのアロマテラピーの基礎および、精油の効用を学ぶ。	3 通	36		○			○			○	
○			動物美容実習	器具の使い方、各犬種のスタンダードを学び、実際に犬に触れて基本的なグルーミングを習得する。	1 2 3 通	458				○	○		○	○	○
○			動物行動実習	犬の行動様式、学習原理を理解したうえで、基本的なしつけトレーニングを実践する。診療時における誤った行動の学習を防ぎ、適切な対応ができるようになる。また飼主が犬との良い関係が構築されるよう、トレーニング法と問題行動の予防方法を説明・指導できるように実践的に学習する。	1 2 3 4 通	356				○	○			○	○
○			動物形態機能学実習	犬や猫の身体を構成する骨・筋・内臓器官の位置と相関関係を骨格標本、臓器模型などにより理解を深める。また、健常な主要臓器の組織像についても学ぶ。	1 通	36				○	○			○	○
○			動物内科看護学実習	動物内科看護学で学んだ知識を基に、動物の状態を的確に把握する能力を養い臨床で必要な看護技術を実践する。	1 2 通	216				○	○			○	○
○			動物臨床検査学実習	血液検査・糞便検査・尿検査などの診断へと導く重要な検査についての意義を理解し、技術を修得する。	1 通	108				○	○		○	○	○
○			動物愛護・適正飼養実習	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する。	2 3 通	72				○	○			○	

授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築・住環境実習	動物の行動学に基づき、人と動物が快適に生活するための知識を習得する。また、福祉と動物と住環境を考え、福祉住環境コーディネーター3級の合格を目指す。	3通	108				○	○			○	○
○			ホームヘルパー理論・動物介在実習	高齢者や障害を持つ人の在宅介護および動物介在活動に必要な専門知識と技術を身につけ、福祉に関するの総合的能力を理解し、動物業界における福祉の必要性を学ぶ。また、介護職員初任者研修の取得を目指す。	3通	272		△		○	○			○	
○			しつけトレーニング実習《必修選択専門科目》	今まで学習した訓練手法を元に、学内でのしつけ教室の開講・運営を目指す。	4通	204				○	○			○	
○			動物管理実習	動物の身体的・心理的健康に努め、環境整備、衛生管理を実践し適正飼養の知識と技術を体得する。また動物看護に必要な観察力と動物福祉の精神を養い、飼主への指導に活かす。	1 2 3通	120				○	○		○		
○			動物看護総合実習	動物病院の実務を体験し、動物関連の業務及び動物の習性・特徴等を習得する。併せて、通常の授業では学ぶことの出来ない社会の規律を体得する。	1 2 3通	180				○		○	○		○
	○		動物美容実習《必修選択専門科目》	動物美容実習を通じてグルーミングの基本から最新の技術を取り入れた応用までを学ぶ。	4通	408				○	○		○		
	○		実務研修《必修選択専門科目》	今まで学んできたことを活かし、継続的に動物関連施設で実務経験を体験する。また、通常の授業では学ぶことのできない、社会の規律を体得する。	4通	204				○		○	○		○
	○		動物医療コミュニケーション《必修選択専門科目》	事前問診、入院動物の容態説明、院内における他のスタッフとのコミュニケーションの基礎について理解する。	4通	34		○			○			○	
	○		人と動物の関係学《必修選択専門科目》	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する。	4通	34		○			○		○		○

授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			適正飼養指導論《必修選択専門科目》	愛玩動物の効用や飼育目的等を理解した上で、適正飼養の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。	4通	68		○			○		○		
			動物生活環境学《必修選択専門科目》	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼育環境の整備、ﾍﾟｯﾄ共生住宅、ﾍﾟｯﾄﾂｰﾘｽﾞﾑ関連施設、ﾄﾞｯｸﾞﾗﾝ、保護収容施設、ﾍﾟｯﾄの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ﾍﾟｯﾄの事故やｹｶﾞ等のﾘｽｸを除去・軽減するための方法や飼育ﾏﾅｰについて学び、人とﾍﾟｯﾄとの共生のための生活環境のあり方を理解する。	4通	34		○			○		○		
			ペット関連産業概論《必修選択専門科目》	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼育のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ。	4通	34			○		○		○		
	○		動物外科看護学実習《必修選択専門科目》	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。	4通	102				○	○		○	○	○
	○		動物臨床看護学実習《必修選択専門科目》	動物看護過程や疾患別の看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を習得する。	4通	102				○	○			○	
	○		実務研修《必修選択専門科目》	今まで学んできたことを活かし、継続的に動物関連施設で実務経験を体験する。また、通常の授業では学ぶことのできない、社会の規律を体得する。	4通	204				○		○	○		○
	○		しつけトレーニング実習《必修選択専門科目》	今まで学習した訓練手法を元に、学内でのしつけ教室の開講・運営を目指す。	4通	306				○	○			○	

授業科目等の概要

（動物管理専門課程　動物共生総合科）令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		アシスタント実習《必修選択専門科目》	これまで学んできたしつけ、トレーニング学・実習で得たものをより多くの犬を使い理解度を深める。また、アシスタントとして人に伝えるコミュニケーション能力の向上を目指す。	4通	102				○	○			○	
	○		実務研修《必修選択専門科目》	今まで学んできたことを活かし、継続的に動物関連施設で実務経験を体験する。また、通常の授業では学ぶことのできない、社会の規律を体得する。	4通	204				○		○	○		○
		○	国内研修	国内の動物関連施設を実際に訪れ、学内では経験できないことを自ら進んで体験し、動物分野の理解をより一層深める。	1 2 3 4通	144				○		○	○		
		○	海外研修	動物分野において先進国である欧米諸国の動物関連施設を訪れ、最先端の技術・施設等を目の当たりにすることで見識を深める。また、日本との違いを直接肌で感じることで自己向上意欲を高め、今後に役立てる。	1 2 3 4通	288				○		○	○		
		○	校外研修	様々な動物関連施設の実務を体験し、動物関連の業務及び動物の習性・特徴等を習得する。併せて、通常の授業では学ぶことの出来ない社会の規律を体得する。	1 2 3 4通	168				○		○	○		○
合計				54科目	4260単位時間（　　単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①指定の課程において履修すべき全科目に合格すること。②指定の課程において所定の技能検定試験に合格し、登録すること。③履修期間の出席日数は、８０％以上であること。④学習態度を勘案し、人格品性共に社会人としての資質を有すると認められること。⑤納入すべき所定	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	20週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。